

令和 6 年度

学生によるオレンジリボン運動

熊本保健科学大学 実施報告書



実施主体 Healing Herb

実施内容 令和 6 年 8 月 19 日～10 月 19 日 3 回

- 1) オープンキャンパスにて高校生や保護者への啓発活動
- 2) 大学内の情報交換・交流イベントにて啓発活動
- 3) 学園祭での啓発活動としてチラシ・オレンジリボン配布

①事前に取り組んだ内容

児童虐待やオレンジリボン運動について調べ学習を行った。

近年、児童虐待が増加している現状を踏まえて、助産学生として何ができるのかを話し合い、啓発活動の企画書を作成した。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

児童虐待の現状や虐待の種類、オレンジリボン運動の起源・活動内容についての説明資料（PPT）を作成した。実施内容 1）では、作成資料（PPT）を基にオレンジ運動の周知を行った。実施内容 2）では、作成資料（PPT）にて説明した。また、参加者にオレンジリボン作成（3つ）を体験してもらった。その作成したオレンジリボンを参加者の知人（3人）に配り、本運動を広めてもらうように依頼した。実施内容 3）では、「オレンジリボン運動はご存じですか？」と配布する際に質問し、知らない際には起源や活動内容について説明し、チラシとリボンを配布した。

③オレンジリボン運動を終えて…

本活動を通して虐待への理解が深まり、虐待児を発見した際の報告義務の意識付けができた。また、将来親になる私たちがどのように子どもと関わっていくべきか考えるよい機会となった。

今回の啓発運動を通して、本学学生、高校生・保護者などの本運動に対する興味・関心を高められたのではないかと思う。特に、学園祭では、オレンジのTシャツを着て、オレンジのリボンを配布することで、人目を惹き、効果的な啓発に繋がったと感じている。オレンジリボン運動の認知度は低いということを実感できたので、助産師学生として、今後も、より多くの人に対して児童虐待防止の啓発を続けていきたい。

写真



【熊本保健科学大学】 <https://www.kumamoto-hsu.ac.jp/>